

2014年ポリオ撲滅活動アンケート報告

第2510地区 ポリオプラス委員会

第2510地区各クラブに対しポリオプラス委員会は、ポリオ撲滅の資金集め等の活動内容に係るアンケートを行いました。

*アンケート」は地区内70クラブに配布し、調査の協力をお願いいたしました。
アンケートの回収は、54クラブでした。(77%)

1. 地域社会に対してポリオ撲滅の必要性や緊急性について説明する事にはどのような計画をお考えですか

ポリオ撲滅資金集めを通し計画しているクラブ 54クラブ
(100%)

2. ポリオ撲滅活動の資金集めについてどのような計画をお持ちですか

地域を対象に資金集めを行う 7クラブ
地域とクラブ内で資金集めを行う 40クラブ
クラブ内を対象に資金集めを行う 7クラブ
——地域とクラブ内募金活動を計画しているクラブは47クラブ、(87%)
多くにクラブは地域の人たちに募金活動の輪を広げる計画をしています
——会員数20人以下のクラブでは、回答のあった13クラブは全て地域活動を伴う計画を立てています。

3. ポリオ撲滅活動を通しロータリーの公共性向上を上げる計画はありますか

計画あり 29クラブ (54%)
計画なし 22クラブ (41%)
——地区の過半数を超えるクラブが羽部ガバナー年度の活動方針を理解し、今までの奉仕活動に加え、ポリオ撲滅運動を地域にアピールすることにより、公共性の向上を図る狙いが伺えます。

4. ポリオ撲滅活動資金集めについて

ポリオプラス基金寄付目標を想定又は計画しているクラブは、34クラブ (63%)
目標金額は、合計で35,900\$

*アンケートの集計による寄付目標と地区寄付実績（2015・6・30）と前年対比

	クラブ目標累計	実 績	前 年 実 績
7月～12月	\$ 20,000	\$ 41,000	\$ 2,200
1月～6月	\$ 15,000	\$ 34,000	\$ 4,200
合 計	\$ 35,900	\$ 75,364	\$ 6,278
地 区 DDF		\$ 41,500	\$ 20,000
総 合 計		\$ 116,864	\$ 26,278

——羽部ガバナーの呼びかけによるロータリーデー&ウイークの意識は強く浸透し、回答頂いた中で、96%のクラブが何らかの募金活動を計画していました。また年度の募金計画の56%が上半期（特に7月～9月）に、下半期（1月～6月）募金計画は44%となっており、前年度の上期、下期の比率とは大いに異なります。——上記ポリオ寄付実績は、ロータリーデー&ウイークを設定したことが大きく貢献したと思われます。又、ガバナーの地区目標に対し各クラブが厳しい予算の中で、様々な活動を通し、クラブがリーダーシップを発揮し協力頂いた素晴らしい実績になりました。R Iの戦略計画、地区活動計画、クラブの活動計画が同じベクトルで活動が行われ最大の効果を上げることができました。

5. ポリオプラス委員会はポリオ撲滅運動推進の手助けになっているか

アンケートでは、活動の継続性を問われました。

——ポリオ撲滅資金募集活動について、ポリオプラス委員会から活動用ツールの連絡が遅れ、クラブの理事会に間に合わないケースもあり、大変ご苦勞をお掛け致しました。又グループ間、クラブ間に於いてポリオ撲滅の理解度に差が生じ、ポリオ撲滅資金活動に濃淡が生じました。街頭募金などは継続性が大切である。一過性の活動ではなく市民活動として地域社会に貢献してゆくことが必要であると考えます。

最後に 私たち、ポリオプラス委員会の活動計画は昨年3月のペッツで発表致しましたが、クラブによっては、ポリオ撲滅活動の継続が難しかったと推察されます。四半世紀に渡るポリオとの闘いの厳しさを感じます。次年度以降の活動について、最後の1%の撲滅達成の難しさと、ポリオ撲滅を目指すR Iの覚悟をクラブ長期戦略計画が反映され、ポリオ撲滅活動資金集めがルーチンで実行出来れば、クラブのあらゆる奉仕活動に反映できるノーハウとなると考えます。

——羽部年度、ポリオプラス地区目標、10万5千ドル（@1,500\$×70クラブ）に対し皆様のご支援により約11万7千ドルと目標を大きく超えることが出来ました。ご協力を深く感謝致します。